



妊娠 & 出産のトラブル解説

 し かん
 弛緩出血

 赤ちゃんとお胎盤が出た後、
 出血が止まらない状態

▲ こんなときに起こりやすい

- 分娩に時間がかかり、難産になったとき（子宮が疲れてしまう）
- 双子の出産（子宮がのびきってしまう）
- 筋腫がある など

▲ トラブル解説

- 弛緩出血とは赤ちゃんとお胎盤がお腹から出た後、本来なら子宮が収縮することで止まるはずの出血がえんえんと続いてしまう状態のことをいいます。
- 赤ちゃんとお胎盤が外に出た瞬間から、子宮の筋肉は急速に収縮して元の大きさに戻ろうとします。通常、その際は痛み（後陣痛）をとまなうことが多いものです。
- 子宮の戻りが悪いと、血管に「栓」がされないため血液が流れ続けることとなります。治療としてはマッサージをしたり、子宮収縮を促す薬を使用したりしますが、それでも止血できない場合は輸血（ケース全体の約3%）、最悪の場合は救命のために1万人に1人の割合で子宮摘出となる場合もあります。